

令和2年度 第2回

丹波市有償運送運営協議会

議 事 録

閲覧用

1 開催日時 令和3年3月25日(木) 午後3時15分 開会

2 開催場所 丹波市立柏原住民センター

3 出席者 (委員)

長田 貴	会長	大野 亮祐	副会長
本間 和典	委員	足立 安夫	委員
水田 節男	委員	蘆田 長門	委員
田橋 一	委員	石田 光	委員
木寺 章	委員	三宅 広昭	委員
小山 貴由	委員	北川 博巳	委員
近藤 巧	委員		

委員13名出席

(デマンド(予約)型乗合タクシー運営者) 藤本 泰男

4 欠席者 堂本 喜代和 委員 塩谷 泰久 委員
芦田 正吾 委員

(オブザーバー) 三宅 豊文

5 会議に付した議題及び案件とその内容

1) 開 会

2) 会長あいさつ

3) 報告事項

(1) 公共交通空白地有償運送 軽微な事項の変更の届出

○特定非営利活動法人 鴨庄 「鴨庄ふれあいバス」

①代表者変更に係る届出書類

②運行状況等について

(2) 自家用有償旅客運送 登録の抹消について

○特定非営利活動法人 ふくろう

①業務廃止に係る届出書類

4) そ の 他

(1) 次期委員の委嘱について

5) 閉 会

(事務局)

お待たせしました。それでは只今から、令和2年度第2回の丹波市有償運送運営協議会を開催させていただきます。委員の皆様につきましては、引き続きの、先程の会からの引き続きの方も多くございますが、よろしくお願いいたします。なお先程、活性化協議会でもお話をさせていただきましたが、この協議会の委員と致しましても、氷上交通株式会社代表取締役の足立安夫様にお世話になっておりますので、よろしくお願いいたします。

また、本日の会議の出席に関する報告ですが、社会福祉協議会事務局長芦田正吾様、オブザーバーの兵庫県交通政策課副課長三宅豊文様、丹波市老人クラブ連合会会長堂本様、丹波市身体障害者福祉協議会会長塩谷様につきましては本日ご欠席です。

なお、資料につきましては、事前に郵送にて、次第と綴じ込んだ資料を送付させていただいたものと、本日、配布させていただいたものになりますので、ご確認をお願いします。

それでは以降の進行につきまして、会長をお願いします。

(会長)

みなさんこんにちは。本日の有償運送運営協議会は協議事項がございませんので報告事項のようなかたちで進めていこうと考えております。有償運送の事業所である特定非営利活動法人鴨庄さんが行われているふれあいバスのような周辺地域から丹波医療センターへの移動手段のひとつに、有償運送であるとか、おでかけサポート、公共交通、デマンドタクシー等、様々な手段がある訳ですので、それらの交通手段の効果的な使い分けというより、効果的な選択ができるようなシステムが、必要であると考えます。その内の一つの有償運送について、今後どのようなかたちで発展していくのか非常に気になるところです。

では、特定非営利活動法人鴨庄さんの代表者変更の報告がございます。事務局からお願いします。

(事務局)

お手元の資料別紙1の自家用有償旅客運送に係る登録事項変更届出書です。代表者の変更があり、令和2年6月1日に代表者が交代され、神戸運輸管理部へ変更届を提出されました。

(会長)

ありがとうございます。本来、更新申請の際には申請者から、現状の運行状況等の説明をお伺いする訳ですが、本年度第1回の有償運送運営協議会は新型コロナウイルスの感染拡大により書面決議により開催いたしましたので、鴨庄ふれあいバスの状況をお伺いすることができておりません。つきましては、現状等について、お伺いしたいと思いますので、鴨庄さんから、ふれあいバスの状況についてお伺いしたいと思います。

(委員)

平成21年の8月から有償運送ということで、NPO法人として取り組んでいます。先程の地域公共交通活性化協議会の際にもありましたように、鴨庄地区は、市島の中でも一番過疎が進行している地域であり、最寄り駅までの距離が3〜4キロ、遠いところでは約10キロあります。このような状況で運行しております。運行日は、月・水・金の週に3回運行しており、午前中の運行となっております。運行時刻は、第1便目が午前9時に運行を開始し、1時間後の10時に第2便目の運行を開始します。

鴨庄ふれあいバス主な使用目的が買物ですが、目的地へ行く交通手段が限られるため、スーパーマーケット、診療所、駅等への利用もあります。運行範囲は、鴨庄地区のみでは生活必需行為を全て賄うのは困難なこともありますので、鴨庄地区と吉見地区の一部診療所や市島駅等を運行エリアに含めています。

令和元年4月から令和2年3月までの利用状況では、延べ約1,117名に利用いただいております。運行日数は137日ですので、1日の平均乗車人数は8人から9人程度であり、多い時では15人から16人程の方にご利用いただいております。

机上に配布しております運行実績の資料に、年度別に利用人数をお示ししております。近年、鴨庄地区も高齢化の影響もあり、若干利用者が減少しております。利用者もドライバーもそれぞれ歳をとってまいります。

別紙2に運行地図を添付しており、第1便と第2便の運行経路をお示ししています。

また運行表も添付しています。第1便は車庫を出発し、9時に戸平に行きまして、戸平から順次、地区単位で廻って行き、フレッシュバザールまで運行しております。第2便はフレッシュバザールから回送で南自治会へ行き、南自治会から順次廻っていき、フレッシュバザールまで運行するというかたちを取っております。

運賃は有料で片道200円です。行きだけ乗られる人もあれば、帰りだけ乗られる人もあります。様々な利用がありますが、そこが難しいところです。最近の状況ですと、「やはりこれが無いと、どうにもなりません。」という意見や、「これずっと続けてくれてんやろ」という意見を聞きます。一人暮らしの方は、主に買い物、診療所へ行くのが大変です。先程も診療所の話が出ておりましたが、やはり鴨庄地区に診療所はありますが、吉見地区にもあり、それぞれ行く人が別々です。

また、丹波医療センターへ直接行ける交通手段に関して、非常に多くの方から「なんでないんや」という話を聞きますが、昔からの習慣で、隣接の福知山市の病院に行かれる方もおられます。

話が少しずれましたが、この鴨庄ふれあいバスが非常に地域の皆さんにとって大切な交通手段になっているということは事実です。

今後、私たち世代もお世話になることがあると思います。皆さんからは大変重宝されており、是非続けていきたいところです。

(会長)

ありがとうございます。簡潔にふれあいバスの現状を伝えていただきました。ここは確認したいこととか、ご質問等がもしありましたら、よろしくお聞かせしたいと思います。

(委員)

思えば、最初に協議を調べてから、相当の年月が経過したと思いながら聞いておりました。特に利用者数の推移を見ると、最初（平成21年度）に2,554名の方に利用されていたのが、昨年度は1,117名ということで、かなり利用者が減少している理由を確認したいと思います。

先程のお話しでは人口減もあり、それから高齢化も進展したという、利用者の減少について分析したこと等を少しお聞かせしたいのですが、いかがでしょうか。

(委員)

最初の平成21年の2,554人から令和元年度は1,117人。令和2年度については、現在で約1,150人の方にご利用いただき、若干増加している状況です。やはり利用者が減少している原因はやはり、市島のスーパーマーケットが一時期閉店し、それが原因で利用者が減ったという状況が見受けられました。しかし、再びスーパーマーケットが開店し、若干利用者が増えてきております。

あとひとつ、利用者が減少している原因は、運転免許を持たないご年配の方が一番のご利用される方でした。その人達が徐々に高齢化でお亡くなりになって、人口が減少したことも原因であると思います。そのような中、運転免許を返納し、ふれあいバスに「乗りたい」という声も聞きますが、いざ自分がふれあいバスに乗るということになると、利用されないという状況も見られます。

特に鴨庄ふれあいバスは、鴨庄地区の地域づくりの一環であり、丹波市全体でも、自分が生まれた育った場所で住み続けるという、安心安全の里づくりの一環で、ふれあいバスを運行しております。ふれあいバスがご年配のサロンのような場になり、交流の一環的な場所になっており、にぎやかな場面もよく見かけます。

鴨庄地区はご存じのとおりバス、鉄道がありません。やはり公共の交通手段という部分が大事ですので、是非残していただいて、これから運転免許返納者の人の受け皿になってくれることを願っています。

このふれあいバスは、ボランティアの方が運転をしており、1ヶ月に12回から13回運行しています。だいたい12人から13人のドライバーに月に1回ずつ運転していただくということにしております。やはりコロナ禍の影響もあるのかもしれませんが、運転手が減少しており、今年様々な理由から運転手が10人引退しました。今回、ふれあいバスの運転手の免許講習を受けた方の内の半分は、仕事の関係上なかなか運転出来ないとしり出される方があります。

このような状況の中ですが、30歳代くらいの方が、地域のために頑張りたいということで、

今年度の講習を受けられました。このような方が今後増えることにより、運行継続に繋がると思っております。

(会長)

ありがとうございました。地域の方々の高齢化と共に、事業展開する特定非営利活動法人鴨庄さんの中でも高齢化が進んでいる。先ほどの北川さんの質問も、世代交替につながってくる内容がありますが、やはり、利用者がかなり減少してきています。

今までふれあいバスを利用されていた方が、この有償運送ではなく、何か他の移動手段を使い始めた方達は、具体的な資料は手元にないかもしれませんが、どれくらいおられますか。減ってきている人数の中には、先ほどの話にもありましたように、亡くなられた方もいらっしゃると思います、しかし、それが全てではないと思います。外出されていた方が、なんらかの理由で外出できなくなっていたら、それは現実的には逆行だと思います。入院中の方もいらっしゃるかもしれませんが、何か他に移動手段を変更された方々というのは、どれくらいいらっしゃるのか、把握をされていたなら伺いたいと思います。

(委員)

平成21年ぐらいから、だいたい乗られる人は、同じでした。その中で、お亡くなりになられた方がおられます。

ふれあいバスは、定時低路線で運行しておりますので、利便性の高いデマンドタクシー等を利用されている部分もかなりあるというのが現状です。

また、新定期的に乗車される方は登録者全体63人のうち、約8人が全ての運行日で利用されます。あとの約50人近くの方は年に1回か2回の利用です。

年に1回、2回程度ご利用される方はおそらくデマンドタクシーや、普通タクシー等を利用されている、あるいはコープ神戸等の移動販売を利用され、買い物に行く必要がない方が多いのではないかと思います。

(会長)

このような情報も交通システムを考えて行くうえでは大事な話であると思っております。このような状況で頑張って運行されておりますことは、本当に今日まで長い期間、地域の住民さんのために、寄与されていることは、地域としてもありがたいことだと思います。

他にご質問等ありましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

なければ、事務局の方から有償運送の在り方や、有償運送の重要性をどう考えていらっしゃるのかをお聞きしたいと思っております。

(事務局)

鴨庄ふれあいバスにつきましては、公共交通空白地有償運送としてデマンドタクシーの

運行が始まる前から、地域で交通手段を確保するということからスタートされております。その運行開始後に、丹波市が全市でデマンドタクシーを導入し、今に至っています。

先ほどもご報告がありましたように、デマンドタクシーや普通タクシーを利用されたり、また個別配送のお買い物を使われたり、利用者の生活スタイルの変化もある中で、30代のドライバーの方が新たに増えたことは、まさに鴨庄地区の地域づくりであると感じています。

鴨庄ふれあいバスとデマンドタクシーが連携し、お互いが補完しながら、長く続いて行くように、市としても関わりを持ち続けたいと考えております。公共交通空白地有償運送のことにつきましては以上です。

(会長)

公共交通空白地というキーワードが付きますが、将来に向けて、この有償運送の在り方、維持・拡大ということについて、見通しをお教えていただきたいと思います。

(事務局)

有償運送のうち、公共交通空白地有償運送については、デマンドタクシーと鴨庄ふれあいバスがそれぞれの立場で運行しており、今後も継続していきたいと考えます。

福祉有償運送の分野につきましては、健康福祉部よりご説明させていただきます。

(事務局)

障がい福祉課です。後でご報告をしますが、有償運送の廃止ということでご報告をさせていただくことになります。そちらの方につきましては、先程の福祉有償運送の話にもありました「おでかけサポート」といった移動サービスと関係を持ちまして、利用される方が利用しやすいようにしていきたいと考えております。

(会長)

ありがとうございます。簡単には、長い将来ではなく、有償運送に関しては、今の鴨庄ふれあいバスさんの維持継続、あるいは強化という流れがあり、有償運送全体の中心になると考えてよろしいですね。

他に何かございませんでしょうか。他にご意見が無いようでしたら議事の2番目になります。特定非営利活動法人のふくろうさんの登録抹消について務局からお願いします。

(事務局)

資料はお手元別紙2をご覧くださいと思います。自家用有償旅客運送の登録の抹消について、令和2年11月13日をもって廃止の届出を特定非営利活動法人ふくろう様が提出をされております。

それに基づきまして、登録の抹消がございましたので、ご報告をさせていただきます。

(委員)

ふくろうさんですが、今回非営利NPOで法人名を変更され、丹波タクシーという名称になりました。令和3年3月16日付で福祉輸送事業限定で兵庫県タクシー協会に入会されました。今後、丹波支部にも入会されると思います。

(会長)

福祉有償運送ではなくなるということですね。

(委員)

そうですね。

(会長)

分かりました、ありがとうございます。

業態を変えてでも事業を継続されたという事は、本当に良いこととだと思っております。

考え方によっては、福祉有償運送ではやっていけないとか、そういうリスクを抱えて、運行されてきた中で、発展的に業態を変更されたのか、担当である障がい福祉課で何か把握されていることはありますか。

(事務局)

詳しくお話はしていない部分がありますが、事業者の方が利用状況等を検証されたと聞いております。

(会長)

事業者の方の検証ということですね。という事は、ふくろうさんを利用されていた利用者は、先程の鴨庄さんの話ではないですが、やはり他の丹波市にあるデマンドタクシーや普通タクシー、他の公共交通機関を利用されるようになるのですね。

また、ふくろうの利用登録者の方で、おでかけサポートに登録されている方もおられたと思いますが、皆さん問題なく移動継続ができていますか。

(事務局)

引き続き他の移動サービスを利用されており、特に問題ないとお伺いしています。

(会長)

今後も丹波タクシーとして事業を行われますので、継続して利用される方もあるでしょう。分かりました。

鴨庄さんにおかれましては、今後も御尽力していただきながら、頑張っていただきたいと思います。お待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。

では4番です。その他の事項について事務局の方からお願いしたいと思います。

(事務局)

丹波市有償運送運営協議会の委員の皆様におかれましては、3月31日をもちまして、一旦委員の任期満了になります。本日もご出席の皆様におかれましては、組織の人事異動等による交代もあろうかと思いますが、引き続き来期の2年間につきましても、委員をお世話になりたいと考えています。

また、人事異動等で委員を交代される団体等がございましたら、事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

(会長)

ありがとうございました。では次回の会議は、来年度の開催ということになります。今もお話ありましたように、委員の皆様におきましては、できるだけ引き続きお世話になりますようお願いしたいと思います。

以上で、本日の有償運送協議会の議題は終了です。

閉会のあいさつを大野副会長からお願いいたします。

(副会長)

先程の地域公共交通活性化協議会に引き続き、長時間に渡りありがとうございます。以上をもちまして閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。

丹波市有償運送運営協議会委員

任期： 平成31年4月1日 ～ 令和3年3月31日
[令和3年3月25日現在]

	委員条項	委員の区分	所属	役職	氏名
1	第3条第1項第1号	市長が指名する丹波市職員	丹波市	企画総務部政策担当部長	こんどう たくみ 近藤 巧
2	第3条第1項第2号	一般旅客自動車運送事業者	神姫グリーンバス株式会社	代表取締役	ほんま かずのり 本間 和典
3			氷上交通株式会社	代表取締役(丹波市デマンド 会 理事)	あだち やすお 足立 安夫
4	第3条第1項第3号	一般旅客自動車運送事業者が組織する団 体に属する者	公益社団法人 兵庫県バス協会	専務理事	みずた せつお 水田 節男
5			一般社団法人兵庫県タクシー協会	丹波支部長	あしだ ながと 蘆田 長門
6	第3条第1項第4号	住民又は自家用有償旅客運送の利用が 想定される者	丹波市自治会長会	会長	おおの りょうすけ 大野 亮祐
7			丹波市老人クラブ連合会	会長	どうもと きよかず 堂本 喜代和
8			丹波市身体障害者福祉協議会	会長	しおたに やすひさ 塩谷 泰久
9	第3条第1項第5号	神戸運輸監理部長又はその指名する者	神戸運輸監理部兵庫陸運部輸送部門	首席運輸企画専門官	たはし はじめ 田橋 一
10	第3条第1項第6号	一般旅客自動車運送事業者の事業用自 動車の運転者が組織する団体に属する者	神姫グリーンバス労働組合	副執行委員長	いしだ ひかる 石田 光
11	第3条第1項第7号	丹波市において現に公共交通空白地又は 福祉有償運送を行っている特定非営利活 動法人等の団体に属する者	特定非営利活動法人 鴨庄	副理事長	きでら あきら 木寺 章
12	第3条第1項第8号	市長が特に必要と認める者	丹波県民局 丹波土木事務所	所長補佐	みやけ ひろあき 三宅 広昭
13			丹波県民局 丹波健康福祉事務所	監査・福祉課長	こやま たかゆき 小山 貴由
14			社会福祉法人 丹波市社会福祉協議会	事務局長	あしだ しょうご 芦田 正吾
15			NAGATAケアマネジメント研究所	主宰	ながた たかし 長田 貴
16			兵庫県立福祉のまちづくり研究所	主任研究員	きたがわ ひろし 北川 博巳
	オブザーバー	兵庫県公共交通担当	兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課	副課長	みやけ とよふみ 三宅 豊文
	オブザーバー	デマンド交通運営者	丹波市商工会 柏原支所	事務長	ふじもと やすお 藤本 泰男